

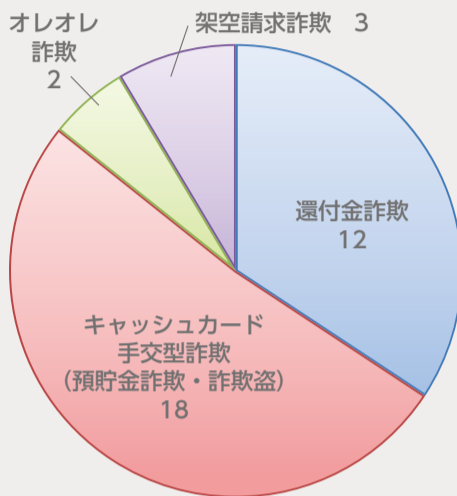
詐欺被害が後を絶ちません 「自分は大丈夫」と思い込まず 対策をしましょう 家族や知人、周囲の力で、 高齢者を詐欺被害から守りましょう

狛江市内だけで今年35件*、金額にして約6,700万円の被害が発生しています。特殊詐欺被害にあった市民の9割以上が70歳代以上の高齢者です。高齢者の大切な預金が悪質な詐欺犯人に奪われています。若年層の方は、「自分は関係ない」と思わずに、「不審な電話があったら一旦切って家族に相談する、すぐに警察に通報する」など、高齢のご家族と日頃から詐欺対策について話し合っておきましょう。

また、ATMコーナーで携帯電話で通話しながら操作している高齢者を見かけたら、臆せず声をかけましょう。家族や知人、周囲の力で高齢者を詐欺被害から守り、安心して暮らせる安全なまちづくりを進めましょう。

*10月末現在、調布警察署集計の値（参考）調布市は55件

市内の特殊詐欺発生状況



不審な電話があったら、迷わず警察に通報だよ！



電話やメールですぐに相談してね

電話でお金の話イコール詐欺と思ってね

(電話しながら) えーっと、こうやって…



それ詐欺ではないですか？一旦操作をやめましょう

今日から始めましょう

被害にあわないために

☑自宅の電話の防犯力を高める。

- 常に留守番電話に設定し相手の要件を確認してから電話に出る。
- 自動通話録音機を使用する。

自動通話録音機を自宅の電話に取り付けると、警告メッセージが相手に流れるため、被害防止に効果的です。狛江市では65歳以上の方に無料で貸出中です。(身分証明書の写し等の持参で代理人の申し込み可)

申込・問い合わせ：安心安全課 03-3430-1190

- ☑キャッシュカードや通帳を知らない人に渡さない。
- ☑暗証番号や預金残高を誰にも教えない。
- ☑お金の話をされたら、一旦電話を切る。その後、家族や警察に相談する、あるいは電話番号を自分で調べて折り返し確認する。

調布警察署 042-488-0110



常に留守電に

先着順！

無料貸出中



キャッシュカード 手交型詐欺被害が 急増しています

調布警察署の警察官や、市役所職員、金融機関を装う犯人が、「キャッシュカードが犯罪に使われている」、「還付金があるがキャッシュカードが古く交換する必要がある」、などとウソを言って、キャッシュカードを渡すよう要求したり、隙を見て他のカードとすり替えます。

カードを渡し、暗証番号を教えると、現金が引き出されてしまいますので注意してください。

あなたのカードが不正に利用されているので交換します

手続きに必要なので暗証番号を教えてください

警察官や市役所職員がキャッシュカードを受け取りに行くことは絶対にありません！



NO



STOP!ATMでの携帯電話

還付金詐欺は、犯人が携帯電話でATMの操作を指示してくるため、

ATMで携帯電話を使わない

還付金詐欺を防ぐ一番の方法です。

警視庁はATMでの詐欺被害を防ぐため、ATMでの携帯電話の通話はしない、させないことをマナーとして広げる「ストップ！ATMでの携帯電話」運動を金融機関と協力して進めています。

HPはこちら



事件、事故は110番、悩み、心配は#9110



警察相談ダイヤル「#9110」をご存じですか

事件や事故の発生には至っていないけれど、悪質商法やつきまといなど生活における不安や困りごとがあるときには、警察相談ダイヤル「#9110」を利用しましょう。

HPはこちら

ダイヤル回線や一部のIP電話は使用できません。警視庁総合相談センター(03-3501-0110)におかけください。なお、各相談は、調布警察署(042-488-0110)でも受け付けています。

※通常の電話料金がかかります。

